

テーブル コーディネート入門

ティータイムのおもてなしにひと工夫



ひと手間加えるだけで、いつものテーブルがこんなに華やか!

器の並べ方や小物使いなど、アイデア次第でいつものティータイムがすてきなテーブルに早変わり!今回は、テーブルコーディネート専門家・辰巳真由美先生に初心者でも気軽に楽しめるテーブルアレンジのコツを伺いました。さっそく今日から始めてみませんか?



教えてくださった方

たつみ まゆみ
講師 辰巳 真由美先生
食空間コーディネート教室CLUB B.C.R.代表。京都薬科大学卒業後、大学病院に7年間勤務。出産を機に学生時代に携わっていたテーブルコーディネートの道へ進み、食空間コーディネーター(TALK 認定講師)に。
<http://www.sweetdreams.jp/>

暮らしを楽しむ感覚で
気軽にチャレンジ

「テーブルコーディネートと聞くと、敷居が高いと感じてしまう方も多いのですが、本来は普段の暮らしの中でできる、もっとシンプルで簡単なものなんです」と話すのはテーブルコーディネーターの辰巳真由美先生。「テーブルのシーンには大きく分けて、フォーマルとカジュアルがあります。例えば、家事や仕事を終えてほっとひと息つきたい自分だけのお茶時間や、家族や親しい友人と家で一緒にお茶を楽しむ時は、カジュアルに肩ひじ張らずにくつろぎを第一に考えたいもの。普段使っている器の使い方

を変えてみたり、庭に咲いている花を飾ってみたりと、ほんの小さなことでいいのです。身近なところから始めてみましょう。まずは器や花は家にあるもので十分。相手や自分が楽しい気分になるように、ちょっとした工夫をプラスしてみましょう。

全体のイメージと
カラーを決める

「初めに、お招きする方に合わせ、家にあるティーカップやクロスを見ながら、エレガント、カジュアルなどの全体のイメージを考えてみましょう。そうすることで統一感が出て、センス良くまとまります」と辰巳先生。全体

のテーマや基調の色がなかなか決まらない場合は、季節をテーマにしたり、お好きな色でそろえればOKです。

また、おもてなしをするお客様が興味を持ちそうな写真や小物を用意しておく、会話も弾みます。楽しいティータイムを過ごせるよう、居心地の良い空間をセッティングしてみましょう。

基本の並べ方を確認しましょう



席の正面にデザート皿を置き、紙ナプキンとナイフとフォークをセット。その右上もしくは右側にティーカップ&ソーサーを並べ、ティースプーンを置きます。紅茶の量はカップの7~8分目が目安です。

アイデア① 紙ナプキン

折り方一つで多彩な演出が楽しめる、小物敷きとしても活用できるナプキン。フォーマルな場では布製のナプキンを使いますが、ご家庭でのティータイムなら紙製のものがお勧め。シーンに合わせてさまざまな柄を使い分けられ、洗う手間も省けて重宝します。



アイデア② 皿=お盆

紅茶用のミルクと砂糖・レモンの入った小皿を、一枚の大皿にまとめて置いて。食器を重ねる際に紙ナプキンや敷き布を挟むと、食器の傷や器がぶつかる音が気にならず、見た目もかわくなります。

アイデア③ 簡単!フラワーアレンジ

テーブルに季節の花を飾ってみましょう!写真は辰巳先生のご自宅の庭に咲いたバラを、リボン巻いたジャムの空き瓶に挿したものです。リボンの色は、テーブルの上にある色から1色を選ぶと、統一感が出ます。



こちらもお勧め!

【ケーキスタンド】

ケーキスタンドもお勧め。高さがあるので華やかに見え、テーブルスペースも有効に使えて便利です。サンドイッチ・スコーン・ケーキのほか、パンなどを置いてもOK。花を飾ってもすてきです。



【ティーコージー】



アイテムを一つ
プラスするなら...

ティーコージーとは、紅茶を入れる際にティーポットの中の紅茶が冷めないようにかぶせておくカバーのこと。おいしい紅茶の秘訣ともいわれるお湯の温度を保つためにも、欲しい一品です。

**季節感をプラスした
和のおもてなし**

「和のおもてなしで大切にしたいのは、季節感を演出することです」と話す辰巳先生。庭に咲く季節の花を用いたり、和菓子や懐紙のモチーフに季節を表すものを選んだりして季節感を取り入れましょう。

今回(写真下)は、トレー(お盆)と同じ素材の重箱を利用して花を生けています。花や器の色は幾つかに絞ると、落ち着いた雰囲気になります。

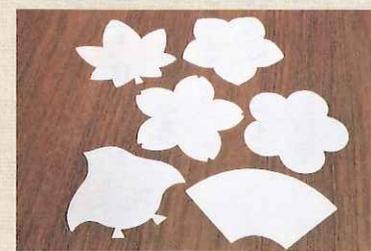
「テーブルクロスを使わずに、器の下にお盆やランチョンマットを

敷くだけでもOKですが、今回は風呂敷を敷いて和を演出してみました」。2本の明るい縦縞模様の風呂敷により、全体的に親しみやすい印象になりました。

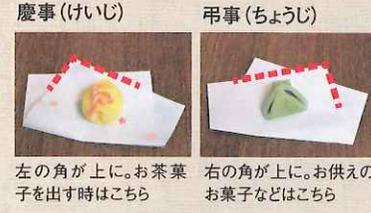
「家で飲むお茶ですので、作法や決まり事にとらわれ過ぎなくてもいいんです」。お気に入りのお茶器を使ったり、竹や漆素材のトレーを取り入れて純日本風にするのもよし。時には、洋風の茶器と組み合わせると、ひと味違うアレンジになります。自分のセンスで、お客様をもてなすテーブルを楽しくしましょう。

懐紙を使って

季節の絵が描かれた懐紙(写真右)、四季の風物をかたどった懐紙(写真下)。形や色合いで季節を伝えます。



懐紙の折り方に注意しましょう



※懐紙は百貨店や文具店などで購入できます。



ゆったりと心を和ませたいお茶の時間。お気に入りの器を並べたテーブルに、さりげなく季節感を取り入れて

**テーブルコーディネート
ワンポイントアドバイス**

お手製テーブルマット



ビニール製の布地*を丸型にカットして、テーブルマットに。洗わずにふき取るだけでOKなので、手間いらず。色や模様・大ききなどバリエーションを増やしておく、和洋さまざまなシーンで使えて重宝します。

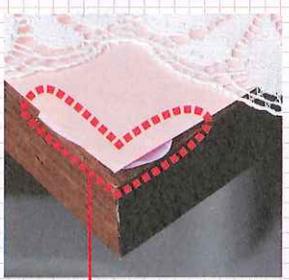
懐紙を折って、ようじ入れに

テーブルに合う懐紙(または紙)を使って、ようじ入れを作ってみましょう。

- 1 白地を内にし、右側2カ所の角を折る ※紙を開いた状態で6cm×8~13cmくらい(ようじの大きさに合わせる)
- 2 上部の約3分の1を内側に折り、下部も同様に折る
- 3 裏返して、左側を内側に折る
- 4 出来上がり! 名前を書いてネームプレート代わりに

クロス代わりに画用紙

全体のテーマや色は決まったのに、それに合うクロスがない...そんなときは好みの色画用紙*で代用してみましょう。テーブルサイズにカットして四隅をテープで貼り着けます。上からレースをかぶせれば、素敵な簡易クロスに早変わり!



ここをテープで留める

トレー使い



同じ茶器を使っても、トレーの色や素材によって雰囲気が変わるもの。あれこれ試してみましょう。

夜のお茶会にはキャンドルを

日が傾いてきたら、キャンドルをともしてみよう。ガラスの器にキャンドルを入れて透ける光を楽しんだり、水を入れた器に浮かべるフローティングキャンドルを使ってみたり...



揺れる炎が室内に映す影は幻想的でロマンチック! いつもと違う雰囲気で楽しんでみましょう。

※クロス代わりに大きい色画用紙・お手製テーブルマット用のビニール製の布地は、ホームセンターなどで購入できます。

**お茶やお菓子は脇役
主役の会話を楽しんで!**

辰巳先生の育った家は友人や親戚を招くのが好きで、先生も小さなころから料理を盛り付けたお皿を並べたり、部屋の飾り付けをしたりと、お手伝いをしてきたそうです。それが辰巳先生のテーブルコーディネートのはまりでした。

テーブルコーディネートは、リラックスして楽しめる雰囲気を作り出すためのもので、頑張り過ぎる必要はないと辰巳先生。「大切なのは、おもてなしの心。お茶やお菓子は脇役で、会話が主役なんです。集まったみんなが心から楽しめるひとときになれば、テーブルコーディネートは大成功です」。

自分なりに大丈夫! まずは、お気に入りの器や花を準備して、ティータイムを楽しんでみませんか。